

政策課題研究 2

在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究

森—川—湖のつながりの再生を目指して、アユ・イワナ・ビワマスなどの在来魚を保全するため、流域での土砂流出パターンや土砂環境のあり方など、多様な主体の合意形成に必要な科学情報を調査・集約・提供します。また、在来魚の保全再生のための河川環境変遷モニタリング手法を開発します。さらに、多様な主体の協働による在来魚の保全・再生活動の要件や課題を明らかにします。

<サブテーマ>

- ・ 森林域から河口までの土砂のつながり研究
- ・ 環境変遷モニタリング手法の開発
- ・ 多様な主体の協働による在来魚保全・再生活動の展開に関する研究

【現状における課題】

森林

- ・ シカ食害による土砂流出
- ・ 人工林の下層植生減少に伴う土砂流出

湖

- ・ 土砂供給不足による湖岸浸食（浜欠け）

河川（上流域）

- ・ 河川構造物の土砂堆積

河川（中下流域）

- ・ 粗粒化やアーマーコート化
- ・ 攪乱土砂減少に伴う河道内樹林化
- ・ 砂礫減少に伴う濾過機能の低下

水系のつながり再生に向けた
合意形成に必要な科学情報の提供

【課題解決に向けた対応】

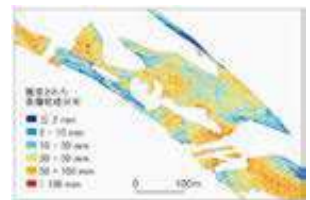
1 既存研究成果の現場活用

- 愛知川のアユ・イワナ・ビワマスなどの保全再生に向けた研究成果の現場活用



2 将来のための技術開発

- 画像解析による河床材の粒径分布推定法の開発



3 保全・再生活動の比較分析

- 新大宮川の保全再生活動の支援



○流域環境改善手法の実証的検討